

# 四街道市人口ビジョン【概要】

対象期間：令和2年(2020年)～令和42年(2060年)

## I. 人口の現状分析

- 人口の増加傾向は維持  
(生産年齢・年少人口割合は減少、老年人口割合は増加)
- 1世帯当たりの親族人員は減少(H27は2.55人)
- 社会増は継続(H27以降、増加傾向)
- 自然減は継続(出生数は横ばい、死亡数は増加)
- 合計特殊出生率は近年改善傾向(H30は1.47)
- 既婚率は若年層で増加傾向
- 就業者数は増加(H12をピークにH22まで減少傾向)
- 企業数、事業所数は減少

## II. 人口の変化が本市の将来に及ぼす影響

- 労働力不足・担い手不足による地域経済の縮小
- 利用者の減少による商業や公共交通などの衰退
- 市財政硬直化による公共施設の更新困難
- 空き家の増加による防災、防犯面など環境の悪化
- 地域コミュニティの維持困難、地域力の低下

## III. 人口の将来展望

### (1) 目指すべき将来の方向

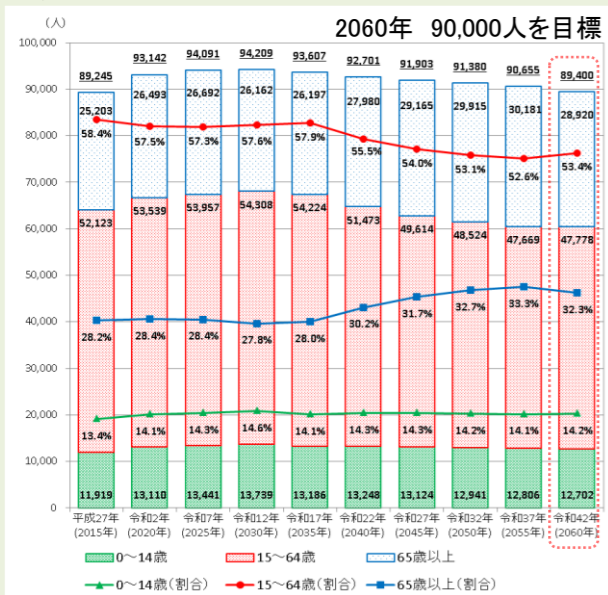
将来的に予測される人口減少社会を克服するためには、社会動態を見据えた移住・定住の取組といった短期的な施策と、自然動態を見据えた出生率の改善を目指す中長期的な施策とをバランスよく織り交ぜながら、効果的に推進することが重要です。

本市では、少子化・高齢化により将来的に見込まれる人口減少と人口構成の不均衡は、早期に自然動態や社会動態を改善することで、人口減少の歯止めやバランスのとれた人口構成につながる余地があることから、地域の特性を最大限に活かしたまち・ひと・しごと創生を、オール四街道で推進していくものとし、次のとおり、本市の目指すべき将来の方向を掲げます。

1. 四街道市への人の流れを創る
2. 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
3. 地域における安定した雇用を確保する
4. 安心で快適な暮らしを守る

### (2) 人口の将来展望

本市においては、合計特殊出生率が早い時期で、さらなる数値の改善がなされることで、人口減少の歯止めにつながることから、令和42年(2060年)において、平成27年(2015年)と同程度の人口を維持することを目指し、人口90,000人を人口ビジョンの目標とします。



# 第2期四街道市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)【概要】

対象期間：令和2(2020)年度～令和6(2024)年度

## 【市の強み】

「人」ひとつくり、そして本市の活力ある市民活動  
 「みどり」 市民生活にうおいを与える豊かな自然 + 都心から40km圏内に位置し、政令指定都市である千葉市に隣接するなど、地理的優位性を備えている  
 「子育て」 本市の充実した子育て環境

## 基本目標1

### “選ばれる”まちづくり

～四街道市への人の流れを創る～

#### (1) きて、みて、暮らしたい！と思えるまちをめざして

##### ① シティセールスの推進

- 市内外に向けて様々な媒体を活用して情報を発信する
- 若い子育て世代の転入・定住に向けたシティセールスを実施する
  - ・高度なIT技術を活用した移住者向けのコンテンツを作成
  - ・企業版ふるさと納税を活用し、移住・定住の促進につなげる取組を検討

##### ② 地域活動支援の充実

- 地域活動を通じて地域の「絆」を深める支援を行う
- 市民活動の連携促進や活動のPR等を行う
  - ・「コラボ四街道」を通じた市民活動を支援
  - ・コミュニティの重要性を啓発し、区・自治会への加入を促進
  - ・地域づくり活動の整備に対し、補助金等を交付

#### (2) きて、みて、楽しい！と思えるまちをめざして

##### ① ふるさと意識の醸成

- 地域の文化や歴史を知り、体感することで地域への誇りを醸成する
- 各種イベントを通じて、ふるさと意識の醸成を図る
  - ・地域の歴史や文化財等の資産を後世に継承し、活用する拠点等の整備を検討
  - ・進学・就職により一度転出した若者のふるさと回帰を促進

##### ② 地域資源を活かした取組の推進

- 市内観光資源の積極的なPRを行う
- ふるさと寄附制度を通じ、市の認知度向上と関係人口の創出を図る
  - ・着地型旅行商品の開発や地元産品のPR活動を支援
  - ・他自治体が行うイベント等に事業者と連携して参加
  - ・千葉県と連携を図りながら、市内におけるロケーション撮影を促進

## 基本目標2

### “未来につなぐ”まちづくり

～結婚・出産・子育ての希望をかなえる～

#### (1) ともに歩みたい！と思えるまちをめざして

##### ① 結婚支援の充実

- 結婚を機に本市で新生活を始める若い世代を支援する
  - ・結婚から子育てまでの切れ目ない一貫した支援を行うため、千葉県と連携を行い、ICTを活用した情報提供を実施
  - ・地域の実情に応じた女性が活躍するための方針を策定
  - ・他自治体等の関係機関と連携して、就職を希望する若者を支援

#### (2) ともに分かち合いたい！と思えるまちをめざして

##### ① 子育て環境の充実

- 市民が希望をかなえ、安心して子どもを持つことができるよう、男女がともに活躍できる環境の創出を図る
  - ・子ども医療費や私立幼稚園・認可外保育所等に通うための費用を助成
  - ・千葉県を中心とした自治体間の連携により、子ども・子育て支援サービス等に関する連携事業を協議

##### ② 地域子育て支援の充実

- 地域の子育て力・教育力の向上を図る
  - ・市民団体や地域の協力のもと、遊び場(プレーパーク)や放課後子ども教室など、安全・安心な居場所を確保
  - ・市内事業所の協力を得て、「赤ちゃんの駅」を設置
  - ・「子ども110番の家」活動を推進

##### ③ 教育環境の充実

- 豊かな感性や強い心、確かな学力を育むため、教育環境の一層の充実を図る
  - ・児童一人ひとりの実態に応じたきめ細かい指導の充実
  - ・小中一貫教育制度を活用した外国語教育を推進
  - ・外国にルーツをもつ児童生徒における言語・文化等の相違に対応
  - ・教育活動全体を通してキャリア教育を推進

## 【目指すべき将来の方向】

1. 四街道市への人の流れを創る
2. 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
3. 地域における安定した雇用を確保する
4. 安心で快適な暮らしを守る

## 基本目標3

### “賑わいあふれる”まちづくり

～地域における安定した雇用を確保する～

#### (1) それぞれの働きたいがかなう！と思えるまちをめざして

##### ① 魅力ある仕事の創出支援

- 商店会や商工会等と協力した中心市街地の活性化や創業支援、中小企業者に対する支援等、新たな雇用が創出される取組を推進する
- ・本市の立地特性を活かした企業誘致のほか、特定地域への企業進出を支援するため、優遇措置となり得る制度を研究
- ・千葉市を中心とした自治体間の連携により、仕事創出のための連携事業を協議

##### ② 都市農業の推進

- 農業者等の所得向上など農業経営の安定に向けた支援を行う
- 耕作放棄地の発生防止や解消に向けた取組を推進する
  - ・農業生産基盤の強化・拡大に必要な施設・機械等の整備を支援
  - ・農業等に関する調査、研究等を行う農業団体等を支援
  - ・農産物の地産地消及び販路拡大を促進
  - ・農地バンクを活用し、担い手へ農地を集約

#### (2) それぞれの能力が発揮できる！と思えるまちをめざして

##### ① 就労支援の推進

- 千葉市を中心とした自治体間の連携による就労支援を行う
  - ・ハローワーク、ジョブカフェちば、他自治体等の関係機関と連携を図り、雇用情報の提供などを実施
  - ・シルバー人材センターの活動を支援
  - ・関係団体として、障害のある人の就労に向けた支援や社会的自立のための支援を実施
  - ・事業所の男女共同参画に対する意識を向上させるとともに、創業や就業等を希望する女性を支援する講座等を開催

## 基本目標4

### “幸せささえる”まちづくり

～安心で快適な暮らしを守る～

#### (1) 住んで、健康！と思えるまちをめざして

##### ① 健康づくり活動の推進

- ライフステージに応じた健康づくり活動を進める
  - ・生活習慣の改善が必要な人に対して、生活習慣病のリスクに応じた効果的な支援を実施
  - ・誰もが気軽に楽しめるスポーツ・レクリエーション活動を推進

#### (2) 住んで、快適！と思えるまちをめざして

##### ① 良好な住環境の推進

- 空家等の発生抑制、有効活用について対応を検討する
- 利用状況を踏まえた公共交通の確保・維持を図る
  - ・地域と協働しながら、グリーンスローモビリティを活用した移動支援について協議・検討

##### ② 持続可能な行政運営

- 国のSDGsの方針を踏まえた効果的かつ効率的な行政運営を進める
- 他自治体との連携に留まらず、大学・民間企業等との連携も視野に入れ、施策を検討・推進する
  - ・AI、チャットボットなど高度な情報技術を活用したサービスを検討

#### (3) 住んで、よかった！と思えるまちをめざして

##### ① 災害対応力の強化

- 市の危機管理体制を強化するとともに、都市基盤の整備を進める
- 自助・共助・公助が一体となった地域防災力の向上を図る
  - ・災害発生時に備え、防災備蓄倉庫を整備
  - ・自主防災組織の育成強化や消防団員の指導育成

##### ② 防犯体制の充実

- 関係機関や地域住民等と協力・連携した防犯対策を実施する
- 防犯知識の普及、啓発により市民一人ひとりの防犯意識を高める
  - ・青色回転灯を点灯させた防犯パトロール車による巡回
  - ・防犯カメラの適切な維持管理とその効果的な運用

## 「横断的な視点」

多様な人材の活躍を推進する  
新しい時代の流れを力にする

目標値	就業者数の増加
	事業所数の維持

KPI	空き店舗等の活用を支援した件数10件
	創業を支援した件数10件

KPI	農業に関する付加価値額の増加
	市内の認定農業者(団体)の数35件

KPI	他自治体等と連携し、就業を支援した人数の増加
	就業者に占める高齢者の割合の増加

目標値	四街道が住み良いと感じる人の割合の増加
	社会増が自然減を上回る

KPI	特定健康診査の受診率43%
	成人の週1回以上のスポーツ実施率の増加

KPI	市民の住環境についての満足度80%
	一戸建て空き家率の減少

KPI	新たに検討した広域連携事業数5件
	経常収支比率95%

KPI	防災備蓄食料の充足率100%
	消防団員数の増加

KPI	刑法犯認知件数の減少
	青色回転灯装着車両による防犯パトロールの実施回数を維持